

2006.10.31

『唐津』アジアの奥座敷検討委員会
報告資料

九州産業大学
千 相哲

九州のインバウンド旅行

1. 概要

- ・世界の観光潮流と九州観光の状況
- ・九州における訪日韓国人旅行
- ・地方都市における外国人観光客の誘致

2. 九州観光の状況

(1) 県別県外入込客数の推移

福岡県を除いて概ね横ばいか減少傾向

(2) 県別宿泊旅行者の推移

全体的に概ね横ばいか減少傾向(九州全体 1997 = 100 2002 = 89.5)

*全国的には横ばいの状況であるが、沖縄(2002 = 154.9)と北海道(2002 = 105.0)は増加

3. 観光振興のためのシナリオ

・ 国内観光参加者数	2002年	6,310万人	2004年	6,080万人	} 減少
・ 国内宿泊観光参加	1991年	1.73回	2004年	1.18回	
・ 国内宿泊日数	1991年	3.06泊	2004年	1.92泊	
・ 外国人旅行者	1991年	353万人	2005年	673万人	増加

4. 訪日旅行者の国・地域別推移

- ・アジアからが 463 万人で全体の 68.7% (韓国(26.0%)、台湾(18.9%)、米国(12.2%)、中国(9.7%) 順)
- ・現在の日中韓の交流人口は 1,200 万人 2010 年までに 1,700 万人
 - * 観光立国(別紙 1 参照)
 - * 九州観光推進機構(別紙 2 参照)

5. 九州の外国人旅行者

(1) 全体人数

1993年 278,172人(=100) 2004年 564,026人(=202.3)

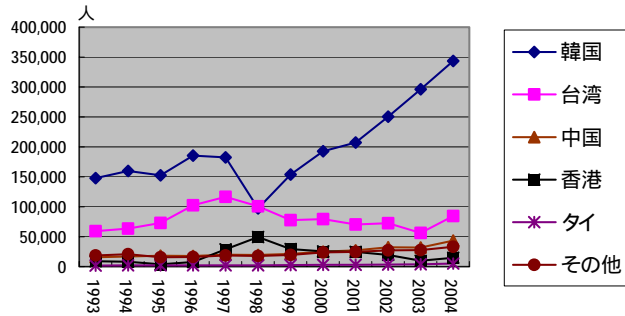
*全国の指標 180.0

1997年 403,871人(=100) 2004年 564,026人(=139.7)

*全国の指標 145.5

(2) 国別

アジアからが525,037人で全体の93%(韓国61%、台湾16.1%、中国8.3%)



資料：出入国管理統計年報

6. 韓国旅行者の増加要因

- ・ ビザ免除
- ・ 週休二日制
- ・ 博多 釜山間の増便(ビートル、ジェビ、KOBEE)
- ・ 韓国系企業の進出

7. 博多 釜山航路利用者の増加による観光行動の変化

- ・ 1 - 2泊短期旅行の増加
- ・ 日本文化・生活体験のニーズ
- ・ 高速バス利用者の増加
- ・ 観光目的地での空間拡大と質的变化
- ・ 記号化する旅行スタイル

8. 今後の動向と課題

- ・ 日韓海峡圏の人的交流の拡大
 - 短期的・継続的な韓国人旅行者への対応
 - 長期的には中国人旅行者も視野に
- ・ 既存の観光目的地 + 生活体験
- ・ 地方の魅力、受け入れ態勢、情報の提供
- ・ 観光と交流をセットに

